

※ 玉川村のうつり変わり

玉川村のむかしから今までの、ようすをしらべて見ましょう。とくに、玉川村の  
できごとやくらしを中心にしらべよう。

西れき	年ごう	村のおもなできごと	人びとのくらしのこと
807	たいどう 大同 2	◎小高にはんにゃ寺がそうけんされる。	○弘ぼう大しが竜崎村にたき見不動そんを安ちしたと伝えられる。
1083	えいほう 永保 3	◎みなもとのよし家が下こうのと中川辺八まん宮にさんぱいする。	○岩法寺に五輪とうが建てられる。
1205	げんきゅう 元久 2	◎須釜東福寺がそうけんされる。	○小高向久保と川辺宮の前に石ぞうくようとうばが建てられる。
1265	ぶんえい 文永 2	○大野むね光、家しんとともに千五沢を開たくする。	
1446	ぶんあん 文安 3	○酢釜村を須釜村とあらためる。	○川辺八まん神社のさい礼の時、やぶさめをはじめる。
1570	げんき 元亀 元	◎川辺円通寺がこん立される。	○須釜つつこわけ神社にご正体やすず、がく、とうぐわなどがほうのうされる。
1573	てんしょう 天正 元	○中の、南須釜、北須釜、山小屋、岩法寺、小高、中、吉村など大寺清光のりょう地となる。	○こく高があらためられる。
1592	ぶんりく 文禄 元	○がもうじさとが南須釜村と北須釜村のけん地を行う。	
1596	けいちょう 慶長 元	◎竜崎村に大雲寺がこん立される。	○小高大らい神社げんざい地にうつる。
1625	かんえい 寛永 2	○真野目、大すみ氏とともに山新田を開たくする。	
1632	〃 9	○にわ長しげが四辻新田をひらく。	
1650	けいあん 慶安 3	○南須釜に南しゅくと北のしゅくに分かれ、北須釜は東、西に分かれる。	○南須釜村東福寺のおしょう五じゅの石とうをこん立する。
1742	かんぼ 寛保 2	○南北須釜村、山新田村、竜崎村は白川(河)りょうとなる。 ○川辺、吉(下)、四辻新田は高田りょう、ひりゅう、小高、中、岩法寺、吉(上)、山小屋はばくふりょうとなる。	ねんく ○年貢上のうについてそう動がおこる。 ○南須釜、北須釜りょう村とのきょうかいあらそいがおこる。
1780	あんえい 安永 9	○北須釜村東西のりょう組が合べいする。	○中野、川辺りょう村で岡の内新田をめぐるあらそいがおこる。
1797	かんぜい 寛政 9	○大竹、木戸氏たちが千五沢をふた	○天明の大ききんにより死者が多く、家つぶれ田畑があれはてる。